

NORTH JAPAN ORAL IMPLANT SOCIETY

2019年度
第32回 北海道地区

口腔インプラント臨床コロキウム

「歯科医療が築く未来へのステップⅡ」



日 時

令和元年11月10日(日)

主 催

北日本口腔インプラント研究会(N.I.S.)

協 賛

京セラメディカル株式会社 株式会社インプラテックス
株式会社ブレンベース

後 援

公益社団法人 日本歯科先端技術研究所

ご 挨 拶



北日本口腔インプラント研究会

会長 **富田 達洋**

第32回北海道地区口腔インプラント臨床コロキウムを開催するにあたりまして、ご挨拶を申し上げます。

北日本口腔インプラント研究会のインプラント学に対するコンセプトは、インプラント臨床は総合歯科医学であるという考え方に立脚し、インプラント学だけではなく、隣接医学はもとより、社会諸科学も含め、幅広く学ぶということです。

そこで、今回のコロキウムのメインテーマを「歯科医療が築く未来へのステップⅡ」としました。

特別講演Ⅰには、長崎大学 原爆後障害医療研究所 人類遺伝学 三嶋博之助教に「歯科医学・ゲノム医療・人工知能」という演題で講演をしていただき、特別講演Ⅱには東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 インプラント・口腔再生医学分野 春日井昇平教授に「安心・安全なインプラント治療を目指して」という演題で講演をしていただきます。

歯科衛生士さんおよびコ・デンタルスタッフさん向けの教育講演として北海道医療大学歯科クリニック 看護部主任 畑 了子先生に「歯科医療の未来を支える洗浄と滅菌－正しい再生処理で安全を保証できていますか？－」という演題で講演をしていただきます。

さらに道内各地でインプラント臨床を積極的に取り組んでいる先生方に一般口演の発表をしていただきます。

またインプラント臨床に不可欠な最新の器材を併設展示致しますので明日からの臨床にお役に立つものと思います。先生ご自身はもとより、お知り合いの先生並びに歯科技工士さん、歯科衛生士さん、デンタルスタッフの皆さんにも声をかけて頂き、多数ご出席下さいますようご案内申し上げます。

※ホテルには駐車台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用下さいますようお願い致します。



- 地下鉄南北線中島公園駅から徒歩3分
- 地下鉄東豊線豊水すすきの駅から徒歩5分
- J R 札幌駅南口からタクシー約10分
約1,500円程度

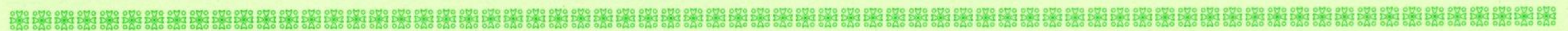
ホテルニースニシティ

〒064-8645 札幌市中央区南9条西1丁目

TEL (011) 512-9748

FAX (011) 512-9755

プログラム



		総合司会	森 基	(N.I.S理事)
8:50	開会の辞	北日本口腔インプラント研究会 専務理事	三嶋 直之	
	会長挨拶	北日本口腔インプラント研究会 会長	富田 達洋	

9:00~10:00	■教育講演	座長	今野 雅之	(N.I.S理事)
	「歯科医療の未来を支える洗浄と滅菌 -正しい再生処理で安全を保証できていますか?-」			
		北海道医療大学歯科クリニック 看護部主任	畑 了子先生	

10:10~12:10	■特別講演 I	座長	三嶋 顯	(N.I.S名誉会長)
	「歯科医学・ゲノム医療・人工知能」			
		長崎大学 原爆後障害医療研究所 人類遺伝学助教	三嶋 博之先生	

12:10~12:40	■器材展示デモンストレーション			
-------------	-----------------	--	--	--

12:40~13:30	■昼 食			
-------------	------	--	--	--

13:30~15:30	■特別講演 II	座長	富田 達洋	(N.I.S会長)
	「安心・安全なインプラント治療を目指して」			
		東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 インプラント・口腔再生医学分野教授	春日井 昇平先生	

15:40~16:20	■一般口演	座長	藤原 秀光	(N.I.S理事)
	・「スパッタ薄膜HAコーティングされたショートインプラントの活用について」			
		南 誠二先生	(東京都開業)	
	・「NISで学んだ私のインプラント治療」			
		柳 智哉先生	(滝川市開業)	
	・「Burning Mouth Syndrome (BMS) 患者に対する、ミントとタバスコによる局所療法について」			
		飯沼 英人先生	(札幌市開業)	
	・「インプラント周囲炎処置における自家骨採取の考察」			
		北野 敏彦先生	(帯広市開業)	

16:30	閉会の辞	北日本口腔インプラント研究会 副会長	高橋 康則	
-------	------	--------------------	-------	--

講演のご案内

特別講演 I

「歯科医学・ゲノム医療・人工知能」

"Dental Medicine, Genomic Medicine, and Artificial Intelligence"

長崎大学 原爆後障害医療研究所 人類遺伝学助教 三 嶋 博 之 先生

歯科医師はもしかして患者さんにとってもっとも身近な遺伝学の専門家かもしれない。ひとつの地域のそれぞれの家族を長期にわたり見守り続ける臨床歯科医の診療は、遺伝的背景と環境の相互作用を総合したものではないだろうか。演者にとっては、最初に遺伝医学に興味を持ったのは唇顎口蓋裂の臨床からである。他人種に比べ発症率が高いアジア人のための予防方法を見出したい、それが遺伝学を志した動機である。

演者は、口唇口蓋裂を含む複雑な遺伝病とともに、単一遺伝子病もターゲットに研究を進め、中條-西村症候群の原因解明などを報告することができた。また、小児希少未診断疾患イニシアチブ(IRUD-P)の600名以上のデータ解析に携わり、ゲノム情報だけでは診断がつかないことも多いことが分かってきた。そこで最近注目されているのが、臨床遺伝医が診断で重視してきた顔貌の人工知能診断である。その中でも米国で開発されたFace2Geneは高い診断力を持つことが知られている。では、学習にほとんどつかわれていないアジア人の顔貌での性能はどうか？演者らは、長崎の症例での評価を最近報告した。その結果は74.1% (44/58症例)、ダウン症候群患者群では100% (33/33症例) という驚くべき精度であった。本講演ではこうしたゲノム医療と人工知能に関する最近のトピックについても、歯科医学・歯科医療との関わりを念頭に紹介したい。

特別講演 II

「安心・安全なインプラント治療を目指して」

東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科
インプラント・口腔再生医学分野教授 春日井 昇 平 先生

歯が欠損した場合の治療法として、歯科インプラントを用いる治療（インプラント治療）の歴史は古い。スクリュー形状のチタン製のインプラントが臨床に使用されるようになり、インプラント治療の臨床成績は著しく向上した。現在、多くの歯科医がインプラント治療をおこなっており、インプラント治療を希望される患者さんも多い。長期症例におけるインプラント残存率は極めて高いが、インプラント治療後には様々な問題がかなりの高頻度で起きる。インプラント周囲組織が炎症性に破壊されるインプラント周囲炎が増加しており、大きな問題となっている。自他の問題症例から、以下の点が適切におこなわれることで、インプラント治療における問題を回避することは可能であると、私は考えている。

1. 検査と治療計画
2. インプラント埋入
3. インプラントと補綴物への荷重
4. 補綴物の形状
5. 歯周病のコントロール
6. 非可動性角化粘膜の存在
7. メインテナンス

換言すると、インプラント治療において問題が起きている場合、上記の1つあるいは複数の点が適切ではない。本講演においては、自他の問題症例を提示して、インプラント治療において長期良好な予後を与えるために必要なポイントについて、ディスカッションをおこないたい。